

KiRaRi

小樽歯科衛生士専門学校同窓会

〒047-0032 小樽市稲穂2丁目1番14号
TEL:0134-27-3001 FAX:0134-27-3018
E-mail:otaru-dh@saturn.plala.or.jp

第18号(2023夏)



目次

小樽歯科衛生士専門学校同窓会 会長挨拶	竹内 真由美	1
小樽歯科衛生士専門学校 学校長挨拶	大聖 康洋	2
新幹事紹介		2
くりぼっちの育児日誌(Vol. 5)		3
2023年度 定時総会・新幹事紹介		4
2022年度 事業計画・収支決算報告・監査報告		5
2023年度 事業計画・役員・委員紹介・収支予算		6
小樽あるある(Vol. 5)		7
お知らせ・編集後記		8

会長挨拶

日頃より同窓会活動に対しまして皆様にはご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、同窓会会长として2期目を迎えることができ、これも偏に皆様のお力添えの賜物と深謝申し上げます。この場をお借りして、同窓会会长としてご挨拶させていただきます。

さて、本年の総会は新型コロナウイルス感染症の収束の目処が立たないため、「会員の皆様の安全を最優先」することに重きを置き、役員のみで規模を縮小して開催させていただきました。全会員にご出席いただけるよう役員間で検討と準備を進めておりましたが、感染が拡大に転化する可能性もあったため「感染防止対策を完璧に整えることが困難」との判断に至りました。皆様にはご出席いただけるよう安心安全な感染防止対策を整えられませんでしたことをお詫び申し上げます。5月には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことを受け、今後の感染者数の状況を観察しながら次年度の開催に向けて準備して参ります。開催の折には是非皆様お誘いのうえ、一堂に会して楽しい時間を過ごしたいと存じます。

今年度の事業といたしましては、母校の生徒誘致活動協力として、リーフレットの作成や配布、皆様への学生紹介の案内を行っていきます。

現在、歯科衛生士は以前よりも求人の範囲が拡大しており、歯科診療所のみならず病院、保健所、高齢者介護施設、訪問看護や学校教育関係での活躍の場があり、求人も増え、生涯資格としての強みもあり、結婚や出産でお仕事から離れてしまった方でも復職可能です。同窓会としても、休職した方に復職を支援する「復職支援事業（リカバリー事業）」のお手伝いをして参ります。

皆様には、今後も医療現場や社会活動の中で会員相互の「人と心のネットワーク構築」にお力添えいただくとともに、同窓会活動にも積極的にご参加いただき活動の活性化と拡大のご支援とご協力をお願いしたいと存じます。



小樽歯科衛生士専門学校
同窓会会长

竹内 真由美
(20期生)

ご挨拶



小樽歯科衛生士専門学校　校長
会長

大聖 康洋

小樽歯科衛生士専門学校同窓会会員におかれましては、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また、本校に対しまして平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、令和5年度より、加藤前校長の後任として本校校長に就任いたしました。平成27年度より、8年間にわたり副校长を務めさせていただきましたが、立場の違いによる職務内容の変化など、不安と戸惑いに苛まれる毎日です。力不足なのは重々承知をしておりますが、精一杯頑張ってまいりますのでご指導賜ります様お願い申し上げます。

令和5年度の新入生は19名、2年生17名、3年生24名と合計60名が在籍しております。昨年度は中途退学者も多く、学生募集も伸び悩み、一気に学生数が減少いたしました。運営上これ以上の学生数減は、本校の存続に関わってまいります。何とか新職員一丸となってこの難局に立ち向かっていく所存です。

また、今年の歯科衛生士国家試験結果ですが、54期生25名が受験し残念ながら1名が不合格となってしまいました。国試合格連続100%は9年で途絶えましたが、新年度は今回不合格となった方も含め、全員合格に向けて全力で取り組みます。

学校運営も新型コロナウイルス感染症に振り回されてきた感がありますが、ようやく感染も下火となってきたようで、ゴールデンウイーク明けから5類に引き下げられることとなりました。イベントなど少しずつ元に戻して、活気あふれる学校づくりを進めてまいりたいと思います。

歯科医療の将来を担う歯科衛生士を養成するよう日々努力してまいりますので、同窓会会員の皆様のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新幹事紹介



岩井 雛里

こんにちは、岩井雛里です。

(勤務先 市村歯科)

小樽歯科衛生士専門学校を卒業して数ヶ月が経ちました。まだまだ仕事に慣れず、迷惑をかけてしまう日々ですが尊敬できる先生方や、熱心に指導してくださる先輩衛生士さんの力もあり、少しづつできることが増え、仕事にやりがいを感じることができます。

これからはもっと自分でも勉強をし、知識を増やして患者さんに正しいことを伝えられるようになりたいです。

まだまだ未熟な歯科衛生士ですが、日々努力して頑張っていきたいと思います。



浦元 優菜

こんにちは、浦元優菜です。

(勤務先 朝里センター歯科)

小樽歯科衛生士専門学校を卒業して、歯科衛生士になりました。

まだまだ覚えることが沢山あり、慣れないことばかりで迷惑をかけてしまっていますが、毎日先生や先輩衛生士さんがご指導してくださるおかげでできることができ増え、やりがいを感じています。今よりも知識を増やし技術も上げるために常に学ぶ事、練習を忘れず、患者さん一人一人と寄り添い合い信頼していただける歯科衛生士になれたらいいなと思います。まだまだ未熟な歯科衛生士ですが、日々努力して頑張ります。



昨年のこのコーナーで触れた我が子の【お口ポカン】やはり、ふと見た瞬間唇が開いている。特にテレビを見ている時にしっかり開いている。そのためかマイマイ発音が不明瞭な息子。特に顕著なのが『き』が『ち』、『け』→『て』、『み』→『に』に聞こえる（と言うよりそのように発音している）事。

彼が急に話しかけてきたとき、うまく聞き取れなくて聞き返すことがあると、『かちくけこ』の『ち』など言ってくる。（文字で表すとこのようになるが、実際は耳が勝手に前後の文章から『かきくけこの【き】』に変換してきこえているので親としてはあまり気にしていなかった）

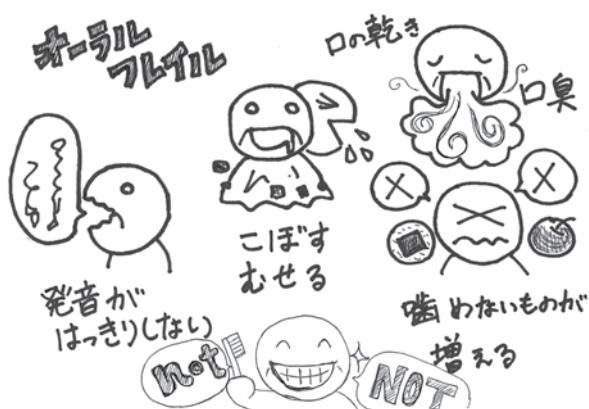
小児歯科にて指摘があり、主に母音のイとエの発音が弱いとされ、昨年秋頃より MFT（口腔筋機能療法）を始める事に。

とにかく最初のうちは舌も唇の力も弱くあらゆる事に四苦八苦している様子だったがトレーニングを始めて約半年。まだまだ改善の必要性はあるが親目線で前よりなんとなーく聞きやすくなっただろうか…？？という具合。まだまだ舌っ足らずな感じだが今春から小学生になったこともあり、もう少し滑舌を含めて本人には頑張って欲しいところ。しかも自分のフルネームに発音困難な音が3つもあるのでせめて名前くらい綺麗に発音できると良いなあと。

ただ、思わずところで成果があがったのが嚥下。MFT では舌を使っての飲み込みの練習があるが、MFT を始める前はマイマイ嚥下に失敗して食事に手間取っている事がちらほら見受けられていたが、最近ではそれが目に見えて減り食事をスムーズにとるようになってきた（相変わらず口の中にたくさん詰め込もうとはしているが）。

やはり舌を使っての嚥下は非常に大事であると実感。

数年にわたるコロナ禍での生活であらゆることに制限がかかった結果、メンテナンスにくる患者さんも次第に化粧っ気がなくなったり口腔内が乾燥するようになってきたり、むせたり足腰が弱ってくる人が増えてきた。



そんな中変わらなかつたのはコロナ禍でも普段となるべく変わらない生活をしていた方々。やはり人と人との関わりの欠如は口腔筋や心身の衰えに非常に関係していると感じ、日本のコロナ対策はあの状況下では仕方がないにしろ、その結果、国民の健康を損なうには十分効果があったのではないだろうか？

最近耳にする【フレイル】【オーラルフレイル】

小児、矯正に関わらず口腔筋機能療法はオーラルフレイル対策としてもっと高齢者医療の世界に浸透すべきではないかと思う今日この頃。

2023年度 定時総会



出席者 8名・校長・賛成数 245名

開催日：2023年4月1日(土)
開催場所：小樽歯科衛生士専門学校
司会：橋本 幸子

1. 開会の辞 副会長 見延 和美
2. 会長挨拶 会長 竹内真由美
コロナの影響も少なくなり、会の運営を戻し、親睦会を次回開催したい
3. 来賓挨拶 小樽歯科衛生士専門学校 校長 大聖 康洋
4月1日付けで校長就任、学校入学生徒の誘致活動に協力を求めている
(3年生24名、2年生17名、1年生19名) 25名以上の生徒入学を目指す
4. 議長・副議長選出 議長 見延 和美
副議長 竹内真由美
佐々木敦子(12期生)
5. 議事録署名人選出 承認
6. 報告事項 承認
監査報告 承認
3) 新幹事紹介 54期生 岩井 雛里(市村歯科)
54期生 浦元 優菜(朝里インター歯科)
- 4) その他
7. 議決事項 議決
1) 第1号議案 2023年度事業計画案審議
2) 第2号議案 2023年度予算案審議
3) その他
8. その他
9. 閉会の辞 副会長 見延 和美

2022年度 事業報告

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 (会員数: 1,680名)

{1} 事業

実施月日	事業内容	場所
4月2日(土)	定時総会 会員12名	小樽歯科衛生士専門学校
4月2日(土)	親睦会 中止	
4月4日(月)～ 5月12日(木)	小樽歯科衛生士専門学校のリーフレット の編集・学校への寄贈	
7月18日(月)	会誌『KiRaR』発行	

・関係団体及び関係諸機関との連携強化

(1) 小樽市歯科医師会との連携強化	・小樽歯科衛生士専門学校存続に向けての協力 ・小樽市歯科医師会新年会	
--------------------	---------------------------------------	--

(2) 関係官庁との連携強化

・小樽歯科衛生士専門学校入学式 参加停止要請	4月9日
・ 同上 戴帽式 参加停止要請	4月9日
・ 同上 潮まつりに参加 中止	
・ 同上 卒業式 参加停止要請	3月11日
・ 同上 祝賀会 参加停止要請	3月11日

{2} 諸会議及び委員会

役員会	1回	11月13日 (PCによる)
役員会・幹事会	0回	
3役会議	1回	2月6日
監査	1回	3月31日
だより編集委員会	1回	7月3日
リーフレット委員会	0回	PCによる会議
ホームページ委員会	0回	"

{3} 執行機関 会長 副会長 幹事長 廉務 会計 書記

{4} 監事

役員、各委員

役職名	現行役員名	
会長	竹内 真由美	(20期生)
副会長	橋本 幸子	(7期生)
幹事長	見延 和美	(20期生)
書記	尾谷 吉枝	(13期生)
会計	春藤 和子	(14期生)
庶務	三原 めぐみ	(50期生)
	薬師寺 弘子	(8期生)
	佐々木 敦子	(12期生)
	八木 明美	(16期生)
	高見 和恵	(19期生)
	武本 真弓	(20期生)
監事	栗林 文子	(5期生)
各委員会及び役職名	現行委員名	
だより編集委員会		
編集委員長	栗林 文子	(5期生)
編集委員	竹内 真由美	(20期生)
	八木 明美	(16期生)
	堀 真弓	(35期生)
ホームページ委員	三上 正代	(22期生)
	見延 和美	(20期生)
リーフレット委員会		
委員長	竹内 真由美	(20期生)
委員	橋本 幸子	(7期生)



2022年度 収支決算報告・監査報告

監 査 報 告

2023年3月31日

小樽歯科衛生士専門学校同窓会
会長 竹内真由美 様

小樽歯科衛生士専門学校同窓会

監事 栗林文子(栗林)

1. 監査の範囲 自 2022年4月 1 日
至 2023年3月31日

1. 会計管理に関すること
2. 業務運営に関すること

2. 監査実施年月日 2023年3月31日

3. 監査の概要

2022年4月1日から、2023年3月31日までの、会計管理及び業務運営について監査を行いましたので、ご報告いたします。

会計管理につきましては、関係役員の出席を得、関係書類の照合確認を行い正確性を検討いたしました。
業務運営については、定例理事会に出席し、業務執行の妥当性を検討いたしました。

4. 会計処理は公正妥当、業務についても適正に運営されていたことを認めます。

2023年度 事業計画 役員・各委員 収支予算



事業計画

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

{1} 事業

実施月日	事業内容	場所
4月1日(土)	定時総会 会員12名	小樽歯科衛生士専門学校
4月1日(土)	親睦会 中止	
4月3日(月)～5月中旬	小樽歯科衛生士専門学校のリーフレットの編集・学校への寄贈	
6月下旬	会誌『K i R a R i』発行	

・関係団体及び関係諸機関との連携強化

(1) 小樽市歯科医師会との連携強化

- ・小樽歯科衛生士専門学校存続に向けての協力
- ・小樽市歯科医師会新年会

(2) 関係官庁との連携強化

・小樽歯科衛生士専門学校	入学式	参加停止要請	4月8日
・ 同上	戴帽式	参加停止要請	4月8日
・ 同上	卒業式	出席	3月予定
・ 同上	祝賀会	出席	3月予定

{2} 諸会議及び委員会

役員会	必要に応じて
役員会・幹事会	"
3役会議	"
監査	"
だより編集委員会	"
ホームページ委員会	"
リーフレット委員会	"

{3} 執行機関
会長
副会長
幹事長
庶務
会計
書記
{4} 監事

役員、各委員

役職名	現行役員名	
会長	竹内 真由美	(20期生)
副会長	橋本 幸子	(7期生)
幹事長	見延 和美	(20期生)
書記	尾谷 吉枝	(13期生)
会計	春藤 和子	(14期生)
庶務	三原 めぐみ	(50期生)
監事	薬師寺 弘子	(8期生)
	佐々木 敦子	(12期生)
	八木 明美	(16期生)
	高見 和恵	(19期生)
	武本 真弓	(20期生)
	栗林 文子	(5期生)
各委員会及び役職名	現行委員名	
だより編集委員会		
編集委員長	栗林 文子	(5期生)
編集委員	竹内 真由美	(20期生)
	八木 明美	(16期生)
	堀真弓	(35期生)
ホームページ委員会		
委員	三上 正代	(22期生)
	見延 和美	(20期生)
リーフレット委員会		
委員長	竹内 真由美	(20期生)
委員	橋本 幸子	(7期生)



小樽

あるある

Vol.05



どうして小樽にお餅屋さんが多いのかな？

小樽を散策していると、お餅屋さんの看板をよく見かける。ちょっと小腹がすいたとき、お節句によって鶯餅、桜餅、柏餅、べこ餅などを実家や知り合いのお宅を訪ねるときに手土産にと気軽に利用する機会も多いのが餅。神社や仏閣の近くにお餅屋さんも並列して並んでいるので、奉納餅として小樽に定着したものと思っている方々も多いのではないだろうか？

そんな疑問を私の知恵袋、小樽市博物館文芸員の菅原慶郎さんに尋ねてみた。

「そう思っている方多いですよね」屈託のない笑顔でそう答えた後、「違うんですよ」と微笑んだ。小樽の産業を支えた労働者は、全国各地から出稼ぎや日雇いで日銭を稼ぎにこの街へやってきた話は、前回の神社の話でも触れたと思うが、この街の産業を支えるための担い手として重要な人たちであった。その人たちの糖分補給として労働者に受け入れられたこと。また、小樽には小豆相場や米相場など、あらゆる物資が港を通して入ってきたこともあり、商売として餅屋は始めやすい仕事の一つであったとのこと。

うちの祖母の実家は昔小樽で馬車屋を営んでいた。その労働者のお昼には餅や雑煮をふるまうことが多かったせいか、臼と杵で餅を何升もつき、年末になると段ボールに2箱、切り餅、あんころ餅、草餅、豆餅などがぎっしり詰めて送られてきて、冬休みの私たち兄弟の朝、昼のお腹を満たしてくれ、この餅がなくなる頃、冬休みの終わりがやってきた。家庭の中に冬の風物詩としてしっかり根付いていたが、年を取るにつけ、臼と杵が自動餅つき機に代わり、季節に関係なく食べたいときに大福や草餅などを買って手軽に食べるようになっている。

話はそれるが「お餅代」という言葉を皆さん知っているだろうか？

江戸時代、商屋や職人の主人から番頭、手代の年末のボーナスとして渡された包み金のことである。うちのばあちゃんは年末に挨拶に来る人たちにポチ袋を用意し、お餅代の足しにして渡していたのを子供心に覚えている。夫に聞くと「年末の賞与にお餅代っていう名目があった気がする」と言っていた。これで餅でも用意して家族でお正月を迎えてください。という心遣いだったのだろう。

お餅はそれほど私たちにとってなくてはならない楽しみの一つであった。最近、昔から続いている餅屋さんが減ってきている。後継者問題もあるのはもちろんだが、コンビニやスーパーで手軽に手に入るものとなったことも要因だろう。

大福一つでも買いに行くお店によって、塩の塩梅や餡子が粒であったり漉しあったり、餅に混ぜ込まれたのがくるみだったり、ゴマだったり、黒豆だったり、よもぎだったり個性がある。各店の個性を堪能するのも小樽ならでは。

書いているうちに食べたくなったのである餅屋へいってみようかな？どれにしようかな、やっぱり草餅かな～黒豆も捨てがたい、家族の分も買わなくっちゃね。



小樽歯科衛生士専門学校

学生募集

本校では来年度入学してくださる生徒を募集しています。

学校に興味のある方にリーフレットを渡しています。

なお、詳細は下記までお問い合わせください。

一般社団法人 小樽市歯科医師会会立 小樽歯科衛生士専門学校

〒047-0032 小樽市稲穂2-1-14

TEL:0134-27-3001 FAX:0134-27-3018

E-mail:otaru-dh@saturn.plala.or.jp

<http://otaru-dental-school.com/>

歯科衛生士復職支援事業

(歯科衛生士リカバリー事業)開催のご案内

今年も、歯科衛生士復職支援事業(歯科衛生士リカバリー事業)として、下記の内容で研修会を開催する予定ですので、ご案内申し上げます。

記

・場所：小樽歯科衛生士専門学校

・内容：講義、実習

新しい材料の取り扱いについて(90分)

スケーリング、PMTC実習(120分)

(予定)

詳しい日程、参加申し込みにつきましては、

小樽市歯科医師会事務局 (Tel 0134-27-3000)

まで、お問い合わせください。

同窓会よりお知らせ

会員の皆様に住所・氏名等の変更があった場合は、

同窓会事務局 橋本にお知らせください。

ホームページからのアクセスも可能です。

連絡先 学校 0134-27-3001

来年度の同窓会・親睦会の担当幹事は

4・14・24・34・44・54期生です。

お会いできることを楽しみにしています。

ホームページアドレス

<http://www.otaru-kirari.org/>

パソコン・携帯とも同じです。

QRコード(二次元バーコード)もご利用ください。



ホームページがリニューアル

されました。ご覧下さい。

編集後記

OL生活を満喫していた従妹が歯科衛生士に転職し、一昨年定年退職して現在は介護施設で口腔ケアボランティアを行っています。従妹が学生に戻った頃、ある女子高生が歯科衛生士の職業に関心を持ち、私の勤めていた職場に通っていました。彼女は進路を選ぶ時、歯科衛生士か看護師か大いに悩み、助産師の資格を取得しましたが、私の孫の出生時に約40年ぶりに再会でき、昔話を聞かせてくれました。

私の娘は現役の歯科衛生士と母の二足の草鞋を履き、目まぐるしい生活をしています。

このように、私にはとても真似できない時間の使い方をして生きている女性たちの姿を見る度に、この半世紀私は何をしてきたのだろうかと自問しながら編集作業をしています。

編集委員長 栗林 文子(5期生)

編集委員 八木 明美(16期生) 竹内真由美(20期生) 堀 真弓(35期生)